癌化学療法輸液約束処方　呼 38

癌種　非小細胞肺癌（StageⅢB/Ⅳ）

レジメン名　呼38　PEMBRO

薬 品 名 （商 品 名）	一 般 名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	PEMBRO	200mg/body	div	30分	DAY 1	21日

[DAY 1]

① NS 100ml / 15分

② NS 100ml + *キイトルーダ　200 mg* / 30分（インラインフィルター使用）

③ NS 100ml / 10分

【注意事項】

・PD-L1発現確認：1st line≧50%　2nd line以降≧1%

・希釈後の最終濃度を1～10mg/mlとする。

・投与の際にはインラインフィルターを使用すること。

・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。

・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。

<休薬規定>

・AST,ALT≧Grade3　・間質性肺炎：G1→投与延期を検討、G2→投与延期、G3→投与中止

・非血液毒性≧Grade3　・大腸炎、下痢：G2→投与延期（G1→再開）、≧G3→投与中止

・自己免疫疾患の発症　・肝機能障害：G2→投与延期（ベースラインまで改善→再開）、≧G3→投与中止

・内分泌障害、副腎クリーゼ：投与延期または中止

・神経毒性：G2→投与延期（ベースラインに改善→再開）、≧G3→投与中止

・皮膚毒性：≧G3→投与延期（G1→再開）

・腎毒性：G2→投与延期（G1→再開）、≧G3→投与中止

・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症：専門医と連携し投与中止も検討

R3.2.8改訂